

今度はこれがでる！出題予想 第12回建設業経理士1級 財務諸表出題予想

	第1予想	第2予想	第3予想
第1問	理論記述問題 ・純資産会計	理論記述問題 ・デリバティブ取引(ヘッジ会計)	理論記述問題 ・引当金(工事損失引当金含む)
第2問	空所補充問題 ・税効果会計 ・リース会計	空所補充問題 ・損益会計 ・無形固定資産(ソフトウェア)	空所補充問題 ・新株予約権 ・連結会計
第3問	文章作成問題 ・工事契約 ・資産除去債務	文章作成問題 ・有価証券 ・退職給付会計	文章作成問題 ・減損会計 ・棚卸資産の評価
第4問	計算問題 ・デリバティブ取引 ・社債	計算問題 ・外貨建取引 ・株主資本等変動計算書	計算問題 ・キャッシュ・フロー計算書 ・有形固定資産
第5問	総合問題(精算表) ＜精算表の基本6論点＞ 貸倒引当金の設定(差額補充法)、減価償却、退職給付引当金、有価証券の評価、完成工事補償引当金、完成工事原価の算定		

なぜ、こう予想したか？

第1問では**理論記述問題**が出題されます。日本会計と国際会計とを比較検討するうえで概念フレームワークがあります。この中心となっているのが資産会計と純資産会計です。ここは注目度の高い論点ですので第1予想に挙げました。純資産会計は株主資本を中心に、資本計数変動の処理を確認しておきましょう。また、第2予想では連結包括利益のその他の包括利益となる「繰延ヘッジ損益」を挙げています。個別の計算を中心に押さえておきましょう。第3予想に挙げた負債会計に関しては引当金の設定要件から具体的な会計処理までを工事損失引当金で確認しておくのと良いでしょう。対策として定義、意義、必要性や会計処理を論点ごとにまとめておくことが効果的です。

第2問では**空所補充問題**が出題されます。税効果会計とリース会計に関しては、過去10回中4回出題されている出題頻度の高い項目ですので、第1予想に挙げました。また過去の出題実績から、最近出題されていない損益会計と最近改正されたソフトウェアを第2予想に挙げました。対策として、空所補充問題は、キーワードとなる語句を論点ごとに整理しておくことが効果的です。

第3問は**語句を配列し、文章を作成する問題**が出題されています。建設業会計で最も重要な工事契約がここ3回出題されていないことから、第1予想に挙げました。原状回復工事などで問題となっている資産除去債務も注目しておきたい論点です。また、有価証券や退職給付会計なども計算と合わせて押さえておきたい論点です。対策として、会計理論と会計処理を合わせて捉えておくことが効果的です。

第4問は**計算問題**が1問ないし2問出題されます。第1問でも注目しているデリバティブ取引を第1予想に挙げました。理論でも計算でも出題可能性の高い項目と考えております。また、計算で注目しておきたいのが株主資本等変動計算書やキャッシュ・フロー計算書となります。計算問題は会計処理である仕訳をしていくことがポイントになってきます。

第5問は**総合問題(精算表)**です。予想に挙げた基本的な6論点を中心に高得点をあげられる様に、充分に対策しておきましょう。また、最近の出題として、リース会計、デリバティブや外貨建資産・負債の換算が出題されていますので注意しましょう。